

平成21年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1471903045	事業の開始年月日	平成18年3月1日	
		指定年月日	平成18年3月1日	
法人名	有限会社 ライフサポートマルヤマ			
事業所名	グループホーム浦上台			
所在地	( 239-0815 ) 横須賀市浦上台3 - 2 - 3			
サービス種別 定員等	小規模多機能型居宅介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
定員等	認知症対応型共同生活介護	宿泊定員	名	
		定員計	9	名
		ユニット数	1	ユニット
自己評価作成日	平成21年10月19日	評価結果 市町村受理日	平成22年3月29日	

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1471903045&amp;SCD=320">http://www.kaigo-kouhyou-kanagawa.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=1471903045&amp;SCD=320</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1 看護師(管理者)が日々状態を把握し早めにかかり付け医師と連携をしている。  
 2 病院受診は管理者(看護師)が付き添う。3 専門音楽療法士による音楽療法(2回/月)  
 4 建物は新しく明るく快適な環境です。5 近くに公園があり住宅街の静かなホームです。  
 6 歩行困難、入浴困難な状況に合わせて利用者の安全、安心のため浴室のリフト設置を予定しています。  
 7 職員の勤務希望はほぼ100%配慮しています。8 ご家族のお気持ちに添ったターミナルケアの充実に努めている。

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鶴沼橋1-2-4 クゲヌマファースト 3階		
訪問調査日	平成21年12月10日	評価機関 評価決定日	平成22年2月1日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

- ホーム：京急浦賀駅から、徒歩8分ほどの小高い丘の上、静かな住宅地の中の2階建ての建物の中にあります。開設4年を経過して落ち着いた佇まいです。児童公園に隣接し、晴れた日には、富士山、東京湾を遠望できます。
- 地域との関わり：代表者もホーム長も、町内会の仕事を率先して引き受け、町内のイベント、清掃、交流に努めています。利用者が散歩の時など、お互いに挨拶が出るようになって来ました。
- 暮らし：職員は、利用者と同じ目線で考え、傾聴、尊厳、自立支援、家族との連携、笑顔をもっとに利用者に接しています。またターミナルケアには、経験を有し受け入れに前向きです。
- 安心・安全：ホーム長(看護師)はキャリアを生き、健康面の気配り、防災面の訓練、浴室、トイレの安全設備の充実に努めています。さらにAEDの設置、その利用の地域への普及などを予定しています。
- 利用者の声：利用者・家族の満足度は非常に高く、健康、医療面の安心、日頃の話合い、利用者の思いや願いへの理解、職員の対応などに信頼が感じられます。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホーム浦上台
ユニット名	

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>利用者ご家族の方々を中心に考えた理念であり、ミーティング等で管理者と職員は常に念頭に置き実践につなげている。</p>	<p>グループホーム開設後、家族の希望を聴き、介護の実際、職員の研修の中に生かし、修正し、容易な言葉で、理念を具体化し、運営の方針にまとめています。</p>	
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>21年度は事業所が町内の組長として町内会の諸行事、町内のパトロール等に参加し日常的に交流を深めている。</p>	<p>代表者は、組長として、祭礼、盆踊り、防犯活動などに積極的に参加しています。しめ縄の取付け、神輿の訪問、近所の店からお米を買うなど、相互交流があります。</p>	
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>町内のAEDの研修会に参加し事業所での設置も必要と感じ設置に向け検討中。</p>	/	/
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議の一環としての事業所会議では他の事業所見学を民生委員、ご家族と共に参加させて頂き設備などの点で参考になった。</p>	<p>市の方針は、年2回の運営推進会議、年4回の事業所会議があり、市職員、地域代表者、民生委員、老人クラブ員が参加し、外部評価、情報の共有が図られています。</p>	
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議以外にも市内の認知症協議会を通じ、また各々に相談、指導を受け連携を深めている。</p>	<p>市内の54グループホームが参加する認知症協議会に参加し、市からの情報、各事業所の様子、福祉映画、認知症治療薬などのテーマが上がり、最新知識と情報の共有が図られています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>勉強会、ミーティング等で身体的拘束禁止の対象となる具体的な行為の意見交換、確認を行っている。玄関の施錠は行わず職員の見守りを強化している。</p>	<p>玄関の施錠、身体拘束はしない方針で、利用者の帰宅願望、徘徊行為が非常に強い時は、職員が話しかけたり、付き添って、落ち着くのを見守っています。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>高齢者虐待防止法に向けた研修会には役員、管理者、職員も積極的に参加し職場内で勉強会を持ち共有し防止に努めている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修を通じて理解を深めホーム内での研修報告、勉強会を持っている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約に対して利用者や家族の方の不安や疑問に対して十分説明し納得して頂いている。法の改定等の際は十分説明し納得して頂いた上で同意書を交わしている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご面会時、気軽にお話ができるような雰囲気作りに配慮している。</p>	<p>家族の要望で転落防止のために取り付けた2階の階段部分の柵は、安全強化に向けて市、消防署と検討中です。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回のミーティングの機会を利用、又はその都度意見や提案があり運営上、又は利用者、職員にとってプラスであればすぐ実行している。	職員から提案の、掃除用具の選定、調理の味付けなど協議して取入れています。個別の職員との話し合いは、契約更新時に行い、勤務条件、休暇など十分配慮しています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の希望を十分取り入れた勤務時間帯を考慮しやりがいのある職場環境に勤めている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	市内認知症協議会、長寿社会課、医師会主催の研修会に参加しホーム内で研修発表を行い各自意見交換、工夫でケアにつなげている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	グループホーム協議会を通じ他事業所との実習、交流を持ち意見交換を行いサービスの質の向上に努めている。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	環境の変化で戸惑い、不安が大きい為目線を合わせて声かけ、ゆっくり話を聴いている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	不安が大きい為、家での日常生活状況を良く聴きそのリズムに合わせてゆっくりした時間を過ごして頂くことを説明する。ホームでの生活はTELで報告し信頼関係構築に努めている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	声かけ、見守りを十分行いご様子をお知らせし安心と信頼関係を深めるよう努めている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の方々の視線に合わせ波長を合わせ良く聴いている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族、ご本人から昔の話を聞き人生の大先輩として尊敬しその人らしい生活が送れるように支援している。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時間の制限はなくいつでも自由にお友達やご家族と面会できお茶、お菓子など和やかな雰囲気作りをしている。	家族との団欒、合唱への参加の和やかな様子が見られました。大切にしてきた初詣、桜見物など実施し、またご近所の散歩など新しい馴染みの場所作りも試みています。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	他の利用者の言葉や行動で雰囲気が変わったり不快感を態度に表す場合があるため状況の把握に努め見守りを強化している。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去後、ご家族にお会いする機会もあり声かけ、近況や情報交換をしている。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	得意とするものは何か、充実して過ごされるものは何か常に探り思い出話など話が弾む。利用者の持てる力を最大限に出せるよう努めている。	利用者の人生、家事・仕事・家族の話の傾聴をしています。外地からの引揚げ、戦後の苦しみや楽しみを話してくれます。職員は情報を共有しケアに生かしています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の訪問、家族歴などアセスメントし職員間で共有し生活環境の変化や不安を最小限にするよう努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の小さな変化にも目を向け何を希望されているか職員間での情報を共有し総合的に把握し支援するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>朝夕の申し送り又はミーティング（1回/月）の時間を利用し課題とケアのあり方について話し合い介護計画に反映している。</p>	<p>毎日の申し送り時に確認する前日の様子、眠りの浅深、排泄、水分摂取の量などを共有し、ケアプランに生かしています。重度の人には、特別な配慮を伝えています。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の身体的状況、日常生活の状況を記録し次ぎの勤務者へ引継ぎ情報を共有し介護計画に反映している。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>将来は地域の方々に気軽に寄って頂ける機能をもつグループホームを目指していきたい。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>職員と家族、町内会館で実施される救急法、AED等の勉強会に参加させて頂き地域との連携を深めている。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>月に2回、かかりつけ医の往診を受け1年に1回の健康診断を受けている。かかりつけ医との連携を密にし夜間の往診も受けている。</p>	<p>入居前からの眼科、整形外科などかかりつけ医への受診の支援をしています。ホーム長（看護師）の判断で緊急の際は、提携医の往診をお願いすることもあります。</p>	



自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師の常勤がいるため介護職員との連携をとりやすく報告があり次第、対応が早く適切な受診へつなげることができる。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時、介護サマリーでホームでの生活の様子、身体的な状況をお知らせしている。退院時は退院時サマリーを頂き服薬や注意すべき点を確認をし穏やかな日々の継続に努めている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時に重度化した場合の対応についてご家族との話し合いをしている。状況に応じご家族の希望の確認を行いながらご家族のお気持ちに添ったターミナルケアの充実に努めている。</p>	<p>ホームでは医療行為はできない事、不測時の対応等利用者、家族と話し合い、理解を得ています。主治医と連携を図りながら、看取り介護に前向きに取り組んでいます。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変事の対応は状況の把握、安全、通報は実技で繰り返し実施。マニュアル化している。心肺蘇生法も実技で研修している。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防災訓練（消防署の方に依頼）をホームで実施、通報訓練を行っている。夜間出火を想定し緊急連絡網の訓練をしている。通報訓練はミーティングの時に机上で繰り返し実施している。</p>	<p>一番条件の悪い時の夜間の火災発生、めったに起きない漏電を想定し、緊急連絡、通報訓練をしています。</p>	<p>防火、避難訓練は勿論、AEDの利用方法の研修、呼びかけなどを通し、近隣との協力関係が構築されることが期待されます。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ホーム内で研修報告をし情報を共有している。利用者一人ひとりの人格を尊重し言葉使いに注意した対応をしている。	現在の利用者は女性のみで、職員も女性が多く、馴れ合いにならないよう常に確認しています。声のトーン、言葉使いなど特に注意しています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者個々の希望や性格などを踏まえて自己決定できるよう説明を工夫したり話を合わせるように働きかけている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務を優先とした流れにならないように気の進まない時は利用者に合わせてご本人のペースで過ごして頂くように努めている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	服装は本人の好みを中心としているが、重ね着などはさりげなく一緒に洋服を選び着替えるよう対応している。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は楽しみにし会話にでている。野菜の芽摘み、食卓の準備や後片付け等協力して頂いている。「ありがとう」の声かけでいきいきした姿が伺える。	食事中は職員と談笑しながら、笑顔も多く見られ和やかな雰囲気でした。お客様に率先してお茶を出して下さる利用者もいます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>毎日の摂取量、水分量はチェックし栄養バランスは保たれている。味付けは高齢者に合わせ糖分、塩分を控え目にしている。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>1日4回起床時、毎食後個人の力に応じた方法で見守り一部介助で行っている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>1～1.5H毎に声かけ誘導を行いトイレでの自立支援を行っている。</p>	<p>排泄チェック表や利用者をよく観察し、利用者のサインを見逃さないように努めています。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>自然排便を促すため朝、牛乳、ヨーグルト等で調節し下腹部マッサージを行い自然排便に努めている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴は楽しみにしているが一人ひとりに合った入浴を支援している。</p>	<p>自力での入浴が困難になることを見据え、新たにリフト浴を設置しました。職員2名で対応します。また新しく手すりを設けて、安全性を高めています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者一人ひとりの自由で休憩できるよう配慮し支援している。本人が自由に夕食後を楽しみ休みたい時間に休むよう支援している。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の内容、副作用等処方箋の注意は職員全員で確認理解するようにしている。食後に白湯で服薬確認をしている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの力が表現出来るように声かけ、自然な参加を促している。レク、作業など充実感が持てるように支援している。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的に天候、体調に合わせて散歩を行い外の空気に触れて頂いている。	利用者のADL（日常生活動作）の低下により外出が減ってきていますが、マンツーマンでの散歩のほか、時に付近の観光地の桜見物等、ドライブも楽しんでいます。	ご家族とも協力しながら、外出支援の工夫、検討を図り、利用者の外出の機会を増やすことが期待されます。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を持ちたい人、全く興味を持たない人、その方に合わせて買い物をしている。お金を持参している方が紛失しないように注意し配慮している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望に合わせ何時でも電話や手紙を書き本人がポストに入れられるよう支援している。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	四季折々の貼り絵を共働で作成し楽しんでいる。趣味の編み物でベストを作ったり袋を作って他の利用者さんにプレゼントをするなど楽しく過ごされている。	リビングに飾られたツリーやタペストリーなどクリスマス気分を盛り上げています。2階廊下にソファが置かれ、くつろいだり、利用者同士の談笑に使われています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングでは利用者同士の会話、笑顔が見られる。玄関先の草花へ水差し等で水をやり楽しまれている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた品物を持参しご自分の居室を自分らしく自由に表現されている。	普段よく使うものでもクローゼットなどにしまう方が多いため、シンプルな雰囲気です。写真やぬいぐるみなど飾られている方もあり、その方らしさを演出しています。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手摺は廊下、洗面所、トイレ、階段に設置してあるが加齢と共に安全のため追加手摺を設置している。浴室の安全を図るためにリフトの設置を予定している。（21年11月頃まで）		

(別紙4(2))  
 目標達成計画

事業所名 : グループホーム 浦上台  
 作成日: 平成 22 年 3 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆にたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	介護サービスについて振り返り、今迄の理念に合わせ見直す	介護理念の見直し サービスの質の向上	開設5年目を迎え利用者、ご家族、職員の思いを取り入れた理念を考え、現在の介護理念と照らし合わせ意見交換し見直す	2ヶ月
2	2	訴えの少ない認知症の方の異常を早く知る	認知症の理解を深める 異常を早期に発見する	年間研修計画を立てる。 ・行政、医師会他勉強会に参加する機会を多くもつ ・ホーム内での勉強会の充実	12ヶ月
3	3	利用者様とゆっくり話す時間を持つ	業務改善	・ミーティングの中で問題点を出し優先して改善を図る 1. 散歩、買物の時間を多くもつ 2. ボランティア協会に相談し協力を得る	12ヶ月
4	4	火災警報器、火災報知装置の早期	利用者の方の安全管理	H24年3月末までに設置とされているが業者より情報を収集し早期に設置を考えている	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNO.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。